

芸術と憲法を考える連続講座 vol.18

クロスインタビュー企画

女・憲法・演劇

—この国の「ザ・空気」に私たちは声をあげる—



▲ 『ザ・空気 ver.2 誰も書いてはならぬ』の舞台より（2018年、本間伸彦撮影）



永井愛（ながい・あい）

1951年東京生まれ。劇作家・演出家。二兎社主宰。2017年テレビ局の報道現場を舞台にした『ザ・空気』で第25回読売演劇大賞最優秀演出家賞、同優秀作品賞など受賞。2018年は国会記者会館を舞台にした『ザ・空気 ver.2 誰も書いてはならぬ』が、第60回毎日芸術賞、第26回読売演劇大賞・選考委員特別賞を受賞。



望月衣塑子（もちづき・いそこ）

1975年、東京生まれ。東京新聞社会部記者。森友・加計疑惑などで、菅官房長官に鋭い質問でどこまでも食い下がる徹底した取材姿勢が、多くの国民から共感を呼ぶ。著書『新聞記者』を原作にした映画が、韓国の女優シム・ウンギョンと松坂桃李のダブル主演で6月封切り予定。

言葉を駆使し、本質に切り込み、話を引き出すわざにかけて右に出る者もいないお二人に、互いにインタビューをしていただいたら、一体どんな話が飛び出すのでしょうか？ お楽しみに！

日時：2019年6月12日（水）18:30-21:00

会場：東京藝術大学 上野キャンパス

音楽学部 5-109 教室

※入場無料、申込不要。藝大生と一般市民のための講座です。

★ 大切なお知らせ ★

17:30頃より会場教室前にて入場整理券を配布開始します。固定席260席に加え、補助席を若干数ご用意いたしますが、定員超過の場合、ご入場いただけなくなることもございます。あらかじめご理解・ご容赦のほど、お願い致します（開場見込み18:00）。

お問い合わせ：kenpou.geidai@gmail.com（川嶋）

主催：東京藝術大学音楽学部 楽理科／後援：日本ペンクラブ
共催：自由と平和のための東京藝術大学有志の会

